

コード	502031601
記入日	H23.6.10

課コード	125
課名	生涯学習課
課長名	西川 義男
担当者	高木 豊昭

事務事業途中評価表

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	鯨鯨館管理運営費
----------	----------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	502	施策名称	生涯学習の充実	項コード	5
基本事業コード	50203	基本事業名称	学習基盤の整備	目コード	5
事務事業コード	5020316	事務事業名称	鯨鯨館管理運営費	細目コード	1000
関連計画	法令・条例規則等		新上五島町鯨鯨館ミュージアム条例		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象しているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 住民		(対象指標1)	23,210人 (H22.4.1現在)			
(対象2) 施設利用者		(対象指標2)	19,051人			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	適正な維持管理を行い、イベントを開催した。 →保守点検回数 1回 →イベント開催回数 3回	*****	*****	*****	保守点検回数1回+計画した保守点検回数1回	*****
		① 保守点検回数	1回	100%		平成22年度
		(達成率分析)	当初の計画どおり実施した。			
		*****	*****	*****	イベント開催件数3件+計画した開催件数4件	*****
② イベント開催件数	3件	75%		平成22年度		
(達成率分析)	開催日程を調整できず、達成できなかった。					
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
捕鯨史を中心とした歴史、芸術、民俗、産業及び自然科学等に関する資料を収集・保存し、それを地域住民や来館者に提供・発信することで、本町の伝統文化を継承していくことを目的に、管理運営を行っている。また、ホールでのイベント等を数多く開催し、ミュージアムとの連携を図ることで、利用率の向上を目指す。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		*****	*****	*****	開館した日数324日+開館すべき日数308日	*****
		① 開館した日数	324日	105.1%		平成22年度
		(達成率分析)	ツアー客等の多数の入館者が見込める場合は、休館日に開館することで対応した。			
*****	*****	*****	利用者数12,437人+計画した利用者数	*****		
② 利用者数	12,437人	106.8%		平成22年度		
(達成率分析)	計画どおり実施できた。					

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		21年度以前	22年度		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 回	10	10	9	1	1					
	② 件	20	19	16	4	3					
成果指標	① 日	324	324	324	308	324					
	② 人	67,193	67,992	55,555	11,638	12,437					
総事業費 C (A+B)	千円	143,852	143,708	113,927	29,925	29,781					
直接事業費 A	千円	45,852	45,708	36,927	8,925	8,781					
人件費 B	千円	98,000	98,000	77,000	21,000	21,000					
内訳	従事職員数	人	14.0	14.0	11.0	3.0	3.0				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	143,852	143,708	113,927	29,925	29,781					

評価

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	町の財産でもあり、当然町が行うべきものである。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	普遍的なものであり、かつ継承していく上で当然行うべきである。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	町有施設の維持管理であり、適切である。
有効性	・現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	適正な維持管理はできているが、前年度と比べてミュージアム利用者は減少している。
	・成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	ミュージアム展示物の充実と魅力ある自主事業の開催により、利用者の増加が見込まれる。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	適正な維持管理ができなくなり、施設が利用できなくなる。また、伝統文化の継承や文化生活の衰退に繋がる。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	●できる ●できない	理由	類似事業はない。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	活動を行うための必要な部分を計上しているため、これ以上の削減はできない。
	・人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	博物館相当施設の観点から、また維持管理上、現在の人員を減らすことはできない。
	・受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	新上五島町鯨骨館ミュージアム条例に沿っており適切である。

改善

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ計画を見直す必要はない。
		有効性	展示物の充実と魅力ある事業を実施することで、利用者を増やすことにつながり、有効性を上げることができる。
		効率性	これ以上の削減は、運営を維持する上でできない。
		課題に向けた改善策	特になし。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり。
		有効性	郷土の歴史・文化を継承する役割とイベントによる地域コミュニティを向上させる役割を持つ施設として利用効果の高い施設である。今後も新規企画を検討しつつ利用率を高めるとともに、施設の維持・管理に努めること。
		効率性	経費の執行については適正に行い節減に努めること。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続
		●		事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
	1次	2次	3次	
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。